回覧

「石神台ガーディアン」2020年2月報告

2020（令和2年）年2月22日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
編集者　小野修司

1） 団員数

昼間合同巡回実施者：	２８名
夜間合同巡回実施者：	２３名
青パト巡回実施者：（同乗者を含む）	３名
以上のどれかの巡回をしている人数：	５１名

個人的に巡回している方70名を加えると、トータル121名です。
やはり夜巡団員が少なくなっています。　　団員募集中！！

2） 1月16日～2月15日の巡回実施状況

✓　**合同歩行パトロール （自分の住む丁目を中心に実施）**

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
１丁目	５日	４０名	１０日	３５名
２丁目	１０日	７２名		４３名
３丁目	１０日	２７名		２６名
全体	２５ 日	１３９名		１０４名

※昼間の巡回記録は今月に限り1月分と2月分が実施日数と実施人数が合計になっています。
ご了承ください。夜の巡回は2月分だけです。

青色回転灯装着車によるパトロール　（石神台内を現在は3台の登録車で随時実施）
２月度：実施車両数：３台　実施回数：１７回
延べ走行時間：１２時間５１分　　走行距離：１１２．４km
久し振りに尾白さんが参加してくれて３台となりました。

3） 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間１０日間			
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	９０%を目標にしていますので住民の皆様に更にご協力をお願いいたします。
１丁目	２８台	２２台	７８．６%	
２丁目	８台	６台	７５．０%	
３丁目	２０台	１３台	６５．０%	
全体	５６台	４１台	７３．２%	

今月は各丁目とも悪い数字になってしまいました。特に3丁目は残念な結果となりました。
ステッカーが入っていないと不審車両と区別が出来ないだけでなく、夜間緊急車両が入ってきた時に困ることになります。お互いにルールを守って素晴らしい石神台にしましょう。

4） ガーディアンの気持ち

2月12日（水）に恒例のガーディアン昼・夜合同の懇親会がありました。今回は3丁目が幹事で、少し知恵を絞って、24人の参加者を出身地別に4つのグループに分けて座って頂きました。北海道・東北がいなくて、結局関東地方が2グループとなりました。グループ毎に故郷の話や子供の頃の話などをして、お互いのことをより知ることでガーディアンの団員同士の結束が更に深まった感じがしました。防犯だけでなく、災害の時などもガーディアンの仲間は助け合えるという思いを強くしました。

（テツ＆ゴン）

5） 大磯警察より

＊大磯署管内では2月の中旬までオレオレ詐欺やその他の特殊詐欺の実害がなかったのですが、相変わらず警察官を装った電話が多くかかってくるようです。おかしいと思ったら、自分だけで判断しないで、まずご家族に相談してください。身近に相談相手がいなければ警察に相談してください。

＊今月、大磯と二宮で自転車の盗難が5件発生しています。短時間の駐輪でも必ず鍵をかけるよう、習慣づけて下さい。

6）編集部より

＊3月21日はガーディアンの総会が10時から公民館であります。是非出席をお願いします。

＊3月27日は神奈川県の交番の日で午後3時から春休みの子供達や自治会員、大磯警察署署員、そして勿論ガーディアンも一緒に合同パトロールをしましょう。

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

https://ishigamidai.com　海の見える街　大磯町石神台　検索

大磯警察　生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は：

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_12.pdf

7） 番外・付録・おまけ…『災害が起こった時に…あなたが支援出来る事』

災害時にボランティアの心得…

1） 活動する前に

＊赤十字などが地元に開設しているボランティアセンターに、登録をしておきましょう。

2）活動所の留意点

＊避難所に着いたら、避難所運営責任者や関係機関の方々への挨拶を忘れずに。

➡情報や目的を共有する必要があるため、関係者と連携を取っておくことが大切です。

＊活動しやすい服装や身だしなみを心がけましょう。

＊あなたの自己紹介も忘れずにしましょう。

➡話し方にも注意が必要です。言葉の使い方や声の調子、表情、姿勢などが安心感を与える一方、逆に不信感を与えてしまう事もあります。

＊高齢者の話を静かに頷きながら聞きましょう。➡“話を聞く”大切な支援の一つです。

＊正しい情報を個別に何度か繰り返し伝えましょう。

➡避難所内の情報が耳に入らなかったり、生活情報が目に入らなかったりします。

＊習得した技術を活用してコミュニケーションを図りましょう。

＊活動を通して知り得た個人の情報を外部の人に話すのは禁止です。（守秘義務）

＊感染予防に留意しましょう。

➡ボランティア自身が感染症の媒介者とならないよう、活動の前後には手洗いやうがいをしましょう。

3） 貴方自身の為に

〈気づかない内に支援するあなたもストレスを受けることを知っておきましょう。〉

＊一日の反省会などでつらかったことや良かったこと等、自分の感情を仲間に話してください。➡話すことで気持ちが楽になります。

＊活動を共にする仲間達との人間関係を良好に保ち、頑張り過ぎないようにしましょう。

＊睡眠・休息を十分取りましょう。

➡睡眠不足になると、集中力・記憶力・思考力が低下したり、気分や情緒が不安定になって、活動が円滑に出来なくなってしまいます。

（日本赤十字社製 「災害時高齢者生活支援講習ハンドブック」より）